

サービス比較表		
名称	gINCクラウド型	gINCサーバ
製品タイプ	クラウドサービス型	オンプレミス型

◆攻撃手法		
添付ファイル型	word (.doc .docx) .zip .pdf .html	word (.doc .docx) .zip .pdf
Zipパスワード	●	●
from詐欺	●	●
「バラマキ」手法	●	●
「やり取り」手法	●	×
リンククリック型	●	●

◆送信・カウント・レポート・その他		
オペレーション	アウトソース	お客様
一斉送信	●	●
連続送信	●	●
時間指定送信	●	●
単数カウント	●	●
複数カウント	●	●
インターネット接続	必須	必須ではありません*2
Webサーバ機能	●	●
レポート作成	訓練2回分以上を同時出力可能	訓練1~2回分で1出力
CSV出力	●	●
メール送信回数	1回~	無制限
訓練対象者数	対象人数による	無制限
デバイスチェック*1	●	●
LAN切断確認*1	×	●
訓練対象者情報	事前提出が必要	不要
契約期間	都度契約	1年契約
機器保証	×	1年保証
サポート	メール・電話サポート	

*1 OSのバージョンによっては使用できない場合がございます。
*2 メール環境によってはインターネット接続が必要な場合もございます。

価格表		
◆gINC クラウド型	基本料金	30万円
	~ 100 アカウント	20万円/2回 14万円/1回
	~ 500 アカウント	30万円/2回 21万円/1回
	~ 1,000 アカウント	40万円/2回 28万円/1回
	~ 2,000 アカウント	50万円/2回 35万円/1回

◆gINC サーバ (1年間のgINC 無制限ライセンス)	Micro Server	180万円~/年
	MicroServer Gen8 Xeon E3-1220L v.2 2.30GHz 1P/2C 4GBメモリ 1TB 7.2krmp 3.5型 6G SATA ハードディスクドライブ×2 (ミラーリング構成)	
	1Uラックマウント	220万円~/年
	DL20 Gen9 Xeon E3-1220 v5 3GHz 1P/4C 8GBメモリ ホットプラグ 2LEF HP 9.5mm SATA DVD-ROMドライブ (Gen9モデル) HP 500GB 7.2k 3.5 6G SATA HDD×2 (ミラーリング構成)	

◆標準サポート、オプションサポート	設定・使用方法に関するお問い合わせ	平日業務時間 9:00~17:00
	機器、ソフト故障時の連絡	電話もしくはメールにて対応
	次年度ライセンス更新費用	36万円~/年
	HTML作成サービス	15,000円~
	オンサイトセットアップサービス*3	200,000円~ (東京近郊)
	アンケート調査	100,000円~

*3東京近郊以外は別途ご相談させていただきます。

■サービスに関するお問い合わせ

販売会社



ミテネインターネット株式会社

〒910-8510 福井県福井市豊島1-3-1
Tel: 0776-20-3195 URL: www.mitene.co.jp
Mail: info@mitene.co.jp

開発会社



ゲイトウェイ・コンピュータ株式会社

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-1-16KONKOビル4F
Tel: 03-5823-8128 URL: www.gateway.co.jp

こんな訓練を行っていませんか？

毎回同じような訓練で形骸化している。

社内ルールが不明確な状態での訓練。

ドキュメントを読むだけの教育。

何のための訓練なのかわからなくなっている。

開封率比較のレポートでセキュリティ判定。

その訓練で会社の情報守れますか？

訓練を決して
形骸化させない

訓練に高額な
費用をかけない

訓練をセキュアな
環境で行う

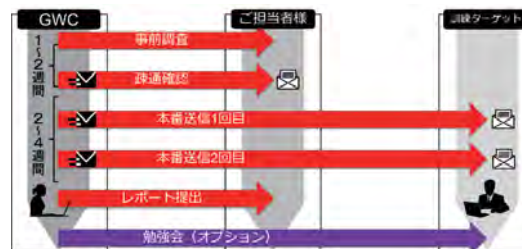


gINCはクラウド版、サーバ版共にいつでも何度でもレポート作成が可能です。



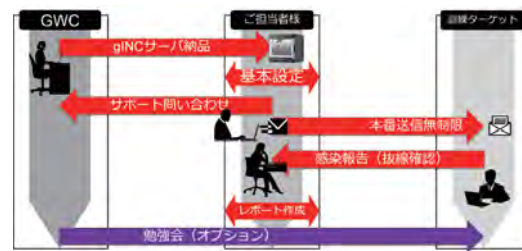
gINCサーバはわかりやすい設定画面ですので、誰でも訓練を実施することが可能です。

クラウド版



- メール本文作成から添付ファイルの内容まで自由に作成できます。
- 送信間隔や送信方法 (Zip暗号化等) を選択できます。
- 実際の標的型攻撃のように個人名宛に送信可能です。
- URLリンクや添付ファイル型等攻撃方法のカスタマイズが可能です。
- 攻撃手法は、パラマキ型、やり取り型の実施が可能です。
- 訓練対象のOSとアプリを表示し、開封環境を確認できます。
- メール訓練回数は1回、2回を選択できます。
- 訓練メール文案をご用意しております。
- レポートはPDFファイルやCSVでいつでも出力できます。

サーバ版



- 購入後初期設定をすればすぐに訓練が実施できます。
- クラウド版の基本性能を備えています (やり取り型攻撃のみ非対応)。
- メールアドレスや訓練結果を外部に知られることなく実施可能です。
- クラウドサービスを利用できない環境でも訓練ができます。
- 1年間無制限ライセンスなので様々な手法で何回でも実施が可能です。
- 次年度以降は更新費用で使用できるため訓練コストを節約できます。
- LANケーブルの抜検確認 (無線LANはネットワーク無効) が可能です。
- Webサーバ機能により、Webサイトを別途用意する必要がありません。

標的型攻撃メールは
たった1人感染させれば成功なのです。

1人感染が成功すれば、ネットワーク上で感染が拡大するだけでなく、さらに他のマルウェアを感染させたり、PCを乗っ取り、重要な情報を窃取し、外部に流出させるなどの犯罪行為が進んでいきます。

標的型攻撃メールを完全に防ぐことは
不可能とされています。

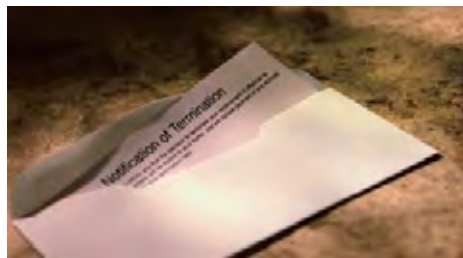
標的型攻撃メールに使用されるマルウェアは、従来のアンチウイルスソリューションでは検知できない場合が多く、**毎日約100万種類の新種**が発生していると言われてます。よって、対策が間に合わず、完全に防ぐことは困難です。

標的型攻撃をソリューションで防ぐことが困難な今、正しい訓練を実施してセキュリティ知識を高めましょう。

「本当に訓練になっている？」
標的型メール訓練の問題点

訓練は「ドッキリ」ではありません。セキュリティルールを定めただで、正しい訓練を実施しましょう。

- 同じような訓練メール送信の繰り返し
……▷ 訓練が形骸化し、意識の薄れに繋がる
- 抜き打ち訓練
……▷ ルール不明の訓練では不安を煽るだけ
- 教育コンテンツ
……▷ 提示だけでなく、専門家による講習会の開催
- 開封率の比較
……▷ 開封率ではなく、ルールに基づいた行動を判定
- レポート
……▷ 重視すべきはレポートより運用ルールの確認



標的型攻撃メール対策訓練 gINC は、
添付ファイルの開封率 0%を目指すものではありません。
疑わしきメールをルールに基いて報告し、
情報漏えいリスクを最小限に抑えるための訓練です。